

令和2年度の業務運営等への反映状況

令和元年度業務実績評価		令和2年度の業務運営等への反映状況
評価項目	評価結果	
第1-2-(1) 学習支援の充実	B	<p>○新型コロナウイルス感染症対策のため、学外企画展等への出展の拡充や、他の美術系大学と連携した合同作品展等は実施を見送った。</p> <p>○基礎的な展示技術の習得と、卒業・修了展や課題展示等で活用することを目的としたインストールワークショップを開催した。 【参加実績】48人</p>
第2-1-(1) 研究水準の向上	B	<p>○科研費等獲得のため、新たに最新の研究動向や調書作成のノウハウに関する動画講座を開催した。 【視聴実績】8名 【科研費申請・採択の実績】 申請：R元年度15件 ⇒ R2年度16件 ※数値目標10件以上 採択：R元年度 2件 ⇒ R2年度 1件 ※ " 3件以上</p>
第4-1-(1) 海外との交流機 会の拡充	B	<p>○オンラインによる本学独自の語学研修プログラムを企画・実施し、参加費用の一部を助成した。 【助成実績】R元年度18人 ⇒ R2年度2人 ※数値目標20人</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策のため、海外渡航が困難な状況に鑑み、海外の交流提携校との合同作品展示会やジョイントワークショップの開催を見送ったほか、コミュニケーション能力の向上を目的とした、実践的な英語講座等の実施も見送った。</p> <p>○令和元年度に引き続き、国内外の移動制限等のため、教員の海外での研究活動や作品発表等の支援は困難な状況であった。</p> <p>○海外渡航が困難状況に鑑み、リンショピン大学（スウェーデン）とのオンラインを活用した今後の交流について協議した。</p>
第8-3-(3) 情報セキュリティの強化	B	<p>○個人情報保護などの情報セキュリティについて、他大学等の取組に関して情報収集を行ったほか、リスクの識別や点検等を行った。</p>